

区民部会からの報告

1. 令和7年度 まちあるき点検・意見交換について

1-1. 開催目的

北区バリアフリー基本構想推進の一環として、今後改修を予定している施設について、障害当事者等のご意見を計画・設計に反映することを目的としてまちあるき点検及び意見交換を実施しました。

1-2. 開催概要

■日時

令和7年10月30日（木） 13時00分～16時30分

■参加者

区民部会委員12名、事務局5名、施設設置管理者等（説明）5名

■検討対象

地区	検討対象施設等	点検・確認の視点
赤羽	桐ヶ丘区民センター	今後整備が予定されている施設について、整備計画を当事者目線で確認し、配慮すべき点について議論した。
王子	十条小学校	今後実施される学校改築にあたり、整備計画を当事者目線で確認し、知見集に記載したこれまでの取組等における課題も踏まえ、配慮すべき点について議論した。
	東十条一丁目高架下 児童遊園内トイレ (現地確認)	今後公衆便所等の改修を予定している施設を対象に、現状について現地確認や動画による確認を行った。これまでのまちあるき点検等における意見も踏まえ、配慮すべき点について議論した。
滝野川	田端公園内トイレ (動画確認)	

1-3. 点検ルート

東十条一丁目高架下児童遊園内トイレ 現地確認ルート

○日時：令和7年10月30日（木） 13時00分～16時30分

○会場：東十条ふれあい館 第2ホール ○移動方法：徒歩

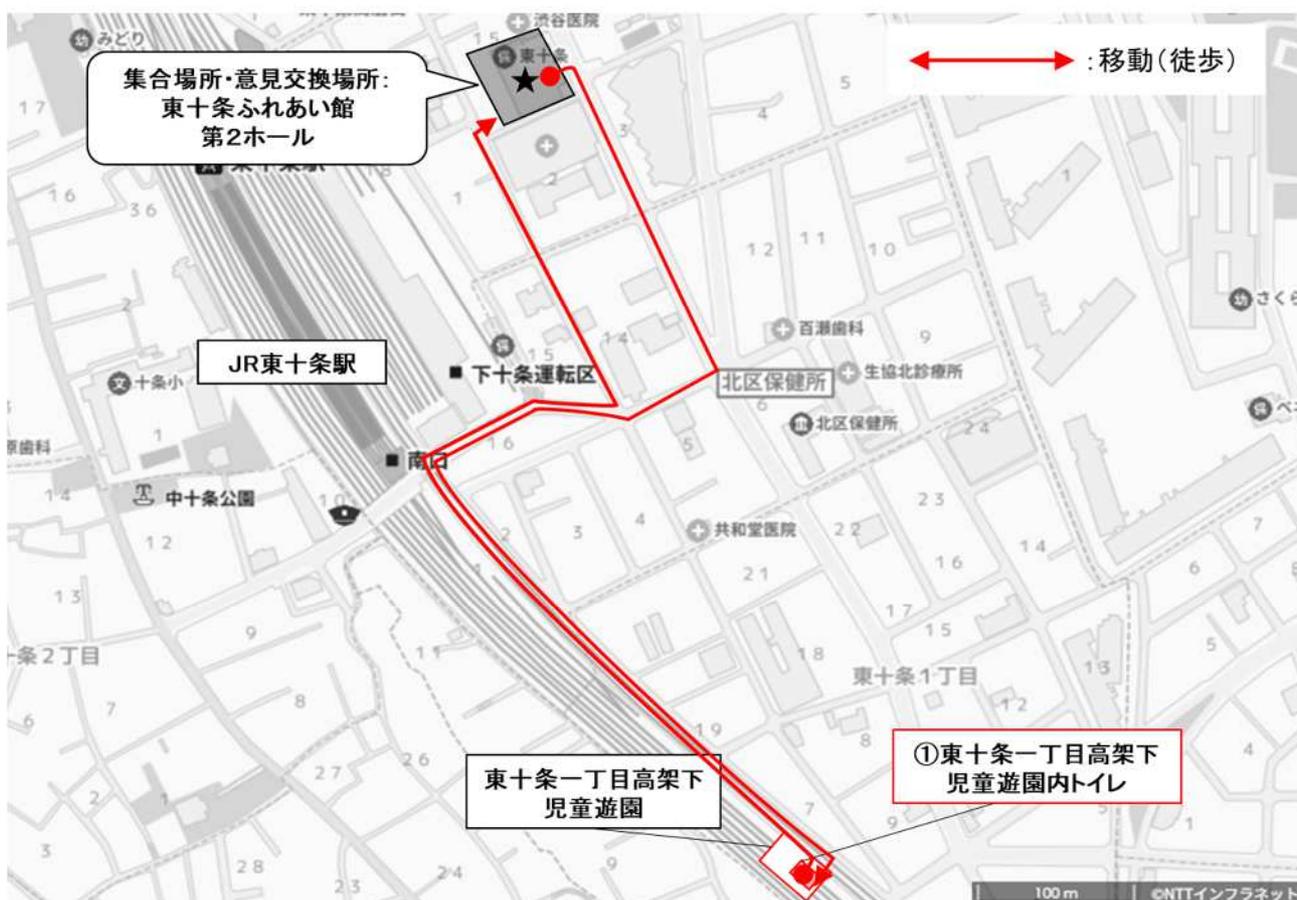
●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容等
13:00			集合場所：東十条ふれあい館 第2ホール	まちあるき点検の説明・ 田端公園トイレの状況確認等
13:30		0:15	徒歩移動	600 東十条ふれあい館→ 東十条一丁目高架下児童遊園内トイレ
13:45	0:15		① 東十条一丁目高架下児童遊園内トイレ	トイレの広さ、設備、トイレまでの経路、案内 等
14:00		0:15	徒歩移動	600 東十条一丁目高架下児童遊園内トイレ→ 東十条ふれあい館
14:15			会場：東十条ふれあい館 第2ホール	

合計 0:15 0:30
0:45

徒歩合計(単位:m) 1,200

●ルート図



1-4. 点検・意見交換結果

① トイレ共通

■意見・指摘事項

〈トイレの仕様について〉

- ・ バリアフリースイッチを適切に設置してほしい。
- ・ 公園内トイレとして、安全に使い勝手良く、車椅子でも使えるものにしてほしい。
- ・ できれば男女別に入口が分かれていて、洋式の個室があり、車椅子が入れるトイレもあるのが理想である。
- ・ 男女それぞれに車椅子利用者用トイレを設置し、合計2つあるとよい。
- ・ できるだけスペースを広げてほしい。車椅子利用者用トイレは車椅子使用者と介助者2人で入ることもあるので、広いスペースが必要。
- ・ 大型ベッド付きトイレの確保に留意してほしい。
- ・ 大型ベッドは全ての公園に設けることは難しいかもしれないが、5～10分圏内に1つあるとよい。夜間の管理が難しいだろうが、鍵をかけられると今度は使いにくくなってしまおうので配慮してほしい。
- ・ 荷物を置けるようにフックや、洗面台等の上に荷物置きスペースがあたりるとよい。
- ・ ボタン類の標準例(JIS)があるため、それに沿って設置してもらえるとよい。
- ・ センサーライトやすりガラスなどによって、車椅子利用者用トイレの個室が使用中かどうか分かるようになっているとよい。
- ・ トイレトペーパーは下向きの回転で取り付けられるタイプがよい。
- ・ 最近のトイレには、一回り小さな便座が重ねてついているものがある。それがあれば幼児も使いやすいのではないか。
- ・ かざすだけで水が出る自動水栓の洗面台がよい。
- ・ 赤羽台けやき公園や飛鳥山公園等と同じように良いトイレが整備されるとよい。これらのトイレに対して挙がっていた意見も反映されるとよい。

〈トイレの案内について〉

- ・ ピクトグラム等でトイレだということがわかりやすい案内があるとよい。
- ・ トイレの案内図にはベッド、オストメイト、ベビーシート等の機能があるかもわかるように書いてほしい。
- ・ ウェブサイト等にトイレの情報があるとよい。右手すり・左手すりで使えたり使えなかったりするので、事前に情報があるとよい。

〈トイレ内での緊急時の配慮について〉

- ・ 中で倒れてしまったときに押せる緊急用のボタンを設置してほしい。
- ・ 押しボタンは押せないことがある。緊急時を感知して自動でどこかにつながるようになっておくのがよいのではないか。特に夜はボタンを押しても誰もいないこともある。
- ・ トイレ内、外それぞれの非常ボタン近くに通報先を書いておくことよい。
- ・ 緊急用のボタンはどこにつながっており、どういう対応になるか、利用者が知らないので周知が必要である。
→ブザーの赤色灯が回り、それに気づいた方が区役所に連絡する仕組みである。夜間・休日は宿直の連絡先、平日は道路公園課が窓口になる。(道路公園課)
→誰も気づかない可能性があるため、別の方法を考えたほうがよいのではないか。

〈その他〉

- ・ 東京都福祉保健局ウェブサイトの「多様な利用者のニーズに配慮したトイレづくりハンドブック」は事例が多いので参考にするとよい。

② 田端公園内トイレ

■意見・指摘事項

〈トイレまでのアクセスについて〉

- ・ 公園内には立地上、高低差がある。車椅子利用者にとって、上の入口からは入りにくく、下の入口から入ることになるのかなと思う。
- ・ 車椅子での出入りができるルートが2つあるとよい。
- ・ 園内の段差がスロープになるとよい。
- ・ 一方で、かなり高低差があるのでスロープ化は難しいかもしれない。
- ・ 出入口からトイレまでの園路は、土ではない舗装と視覚障害者誘導用ブロックが整備されるとよい。
- ・ 雨の後は泥でぬかるむのではないか。トイレ付近は特にぬかるまないようにしてほしい。車椅子がドロドロになると、その後建物に入るときに申し訳ない気持ちになる。
- ・ 公園内や周辺で適切な照明をつけてほしい。

〈トイレの仕様について〉

- ・ 男性用小便器は仕切りがないので、視線を遮るように区切ってほしい。
- ・ 小便器を1つに減らして、大便器の空間を広げるとよい。
- ・ 大便器の扉は、最近使われているような開閉しやすい仕様とするとよい。

③ 東十条一丁目高架下児童遊園内トイレ

■意見・指摘事項

〈トイレの仕様について〉

- ・ トイレの出入口に段差があるため、なくしてほしい。[写真1](#)
- ・ 外から小便器が丸見えになるのは良くない。

〈トイレの維持管理について〉

- ・ 清掃は指定管理者に委託されているということだが、清潔ではなかった。

〈公園の出入口について〉

- ・ 公園の出入口に段差や車止めがあり、車椅子利用者は使いにくそう。車椅子利用者が不便を感じないように整備してほしい。入口にはU字型を逆さまにしたようなポールがあったが、ポールをI字型にするなどでも効果的であれば、そうするとよいと思う。[写真2、3](#)
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックを敷設するのであれば、公園の出入口だけでなく、道路側にも接続させてほしい。せめて出入口の道路側にだけでも警告ブロックが必要。[写真2、3](#)

〈園路について〉

- ・ 園内のルートは整地されておらず動きにくい。園路のバリアフリー化がされるとよい。
- ・ 段差をなくしてほしい。車椅子利用者が安心して遊べるようにしてほしい。[写真4](#)
- ・ 園内に少し傾斜があると思うが、当事者にとって許容範囲であれば問題ない。
- ・ 子どもたちの遊び場として求められる土の部分と、車椅子利用者の通路として求められるコンクリートや舗装の部分を分ける必要がある。車椅子通路における曲がり角等では車椅子が転回できるサイズ感は計算してほしい。
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックと車椅子ルートが共存できるように園路の幅に配慮してほしい。

〈その他〉

- ・ トイレ内に「おむつを捨てるな」という張り紙があった。公園は仕方ないかもしれないが、特に街中の施設のトイレでは、おむつを捨てられるような場所が必要である。
- ・ 人通りがなさそうであるため、セキュリティ面での配慮が必要。
- ・ 夜間の暗さが心配。暗い中で一人では、なかなかトイレを使いにくいのではないか。
- ・ 線路沿いは24時間明るいので、もしかしたら夜も出入りがあるかもしれない。夜の利用状況は確認しておいた方がよい。
- ・ ホームレスのような方がいた。工事となるとその方の生活のリズムが崩れるかと思う。そういった方への支援も必要ではないか。

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



④ 桐ヶ丘区民センター

■意見・指摘事項

〈駐車場・敷地内通路〉

- ・ 車の後ろ側から乗り降りした場合でも、濡れない庇の配置に配慮してほしい。また、障害者用駐車施設の後方にゼブラゾーンがあるとよい。
- ・ 植栽になっている部分を乗降スペースとして活用すれば、後ろ向きに入れば庇の下で乗降できそうである。
- ・ 駐車場が障害者用含めて2台分では少ないのではないか。
- ・ 敷地出入口や敷地内通路で歩行者動線と自動車動線が重ならないように配慮してほしい。
- ・ 一般車両と歩行者の出入口が隣り合っているが、仕切り等があるとよい。
- ・ 一般道から車椅子で入館するとき、車椅子は視覚障害者誘導用ブロックの上を通ることになるのではないか。車いすが通れる幅の通路があると良い。

〈上下移動〉

- ・ 大型エレベーターは通常利用を想定しないとのことだが、1台しかエレベーターが使えないのは不便である。エレベーターが2台ある障害者福祉センターでさえ、縦移動に時間がかかる。
- ・ EV2も日常的に利用できるとよい。
- ・ EV2は扉が広いので使い勝手がよさそうに感じる。授産場の出入口などについても扉の開口部などが十分確保できているか確認したい。

〈トイレ〉

- ・ おむつの処理に関して、汚物入れの在り方を検討してほしい。
- ・ 折り畳み式の大型ベッドは落下の危険性がない配置等に配慮してほしい。
- ・ 介助のために大型ベッドの両側ともに入る可能性があるが、頭の向きを変えればよいので、壁にできるだけくっつけた方がよい。壁に設置して倒すタイプの方が安全性は高い。
- ・ 3階のトイレの非常呼出ボタンはどこに通報されるのか。

〈授乳室〉

- ・ 授乳室の出入りを確認・管理できるようなくみとなっていると安心する。スタッフの視線が届くようになっているとよい。
- ・ 授乳室内のソファが出入口から丸見えにならないように配置できるとよい。

〈周辺環境〉

- ・ 出入口から受付までの視覚障害者誘導用ブロックがあるが、最寄りのバス停（赤羽都営住宅）の上り・下り両方から連続設置してほしい。そうすると、視覚障害者が一人で利用できる可能性が上がる。全体の建て替えの一環として、周辺道路整備も進むとよい。
- ・ 隣に商業施設ができることで人流が変わる。角の交差点は歩道橋があり、複雑な信号で待たなければならない人もいるだろう。信号と歩道橋の在り方については検討しておく必要がある。

〈災害対応〉

- ・ エレベーターが使えなくなる災害時に避難できるスロープがあると車椅子使用者は安心である。
- ・ フラッシュライトはトイレ以外にも必要ではないか。授乳室なども検討してほしい。
- ・ なでしこ小学校を確認した際もフラッシュライトがなかった。聴覚障害者が、火災などの知らせが分かるようなランプを各室につけてほしい。昭和町ふれあい館を参考にするとよい。

〈その他〉

- ・ フリーWi-Fiが入るのはよい。インターネットが自由に使える前提であれば、QRコードを用いた施設案内や多言語での情報提供もできるし、施設を使いにくい人にも集会のオンライン配信ができる。

⑤ 十条小学校・学校改築におけるバリアフリーに関する取組

■意見・指摘事項

〈施設内の設備・機能〉

- ・ 少子化でありながら配慮が必要な子供の数は増えているので、教室数を多く設けてほしい。
- ・ 段差解消などがされており、全盲や弱視の子供が入学しても安心できる。
- ・ 部屋の出入口や曲がり角では角がないように面取りして、通行しやすさと安全に配慮されるとよい。
- ・ 階段の手すりは、児童の学年により身長差があるので2段手すりにするとよい。
- ・ トイレについては、扉の使いやすさや、袖壁があるか、扉に車いすで横付けできるか等、十分検討してほしい。
- ・ 肢体不自由の子どもが交流及び共同学習などで一般の学校を訪問する際に、介助に対応したトイレがないことで短時間しか交流できない場合があるので、大型ベッドのあるトイレがあるとよい。
- ・ 少なくとも、体育館棟の多目的更衣室には大型ベッドを置く必要がある。
- ・ 肢体不自由者は筋肉の緊張などがあり、手を伸ばせない場合がある。手洗い場の洗面器に蹴込があると車椅子でも近づいて手が洗えるが、都の北学園は蹴込がなく、手が届かない。以前にも出ている意見であり、知っていたのにできなかったということがないようにしてほしい。
- ・ 車椅子利用者用駐車場があるとよい。車体後方にゼブラゾーンと庇を配置してほしい。
- ・ 稲付中学校の体育館のバリアフリー化はとても良い例であり、参考にしてほしい。
- ・ 賞状授与などの際、体育館のステージに上られるようにしてほしい。北特別支援学校も参考にするとよい。

〈非常時のバリアフリーについて〉

- ・ 荒川氾濫時に高低差を移動できるルートになることを期待したので、地下3階からのエレベーターが付かないことは残念。
- ・ 小学校の改築とあわせて高台水害避難場所としての検討をしてほしい。特に水害や台風は、災害までの備えておく時間が長いので、災害弱者にとっては早めに避難できる場所が欲しい。
- ・ 地震が来た時に階段昇降機やエレベーターが動くのかが不安である。避難訓練などを行っておくのがよい。
- ・ 火災報知器等がなっていることを知らせるランプを、聴覚障害者が目で見えてわかるように教室等のすべてにつけてほしい。学校でも普通学級に聞こえない方が入ることもあるため、そのようにしてほしい。
- ・ 非常時のマンホールトイレは、車椅子利用者は利用に時間がかかる。実際に使えるか、どのような覆いがかかるのか、雨の日でも使えるかなど検証しておいた方がよい。ラップポンという排泄物の処理をできるものがある。北区でも危機管理室で導入している。屋外ではない対応で排泄処理ができる方法も考えておけるとよい。

〈インクルーシブ教育について〉

- ・ 十条小学校では、特別支援教室や保健室が一般の教室前を通らずに行けるような配置となっており、不登校児童などへの配慮があると感じた。一方、特別支援教室に通う児童と一般の教室に通う児童の関係性が希薄になる懸念もある。色々なことを考慮されてのことかと思うが、関わりを分断しないよう工夫してほしい。

- ・ インクルーシブ教育について、同じ教室で学ぶことで子どもたちからも高い評価を得ている自治体もあると聞くので、北区でも取り入れられるとよいのではないか。例えば音楽など、教科によっては一緒に学ぶことがあるかと思う。当事者の意見も反映して、みんなで考えていけるとよい。
- ・ インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援学級と通常学級の近接という施設整備は隔世の感があり良いコンセプトだと思う。
- ・ お昼休みなど、子どもの意志で健常児と障害児も一緒に遊べるような環境が作られているか。当事者の必要な支援を周囲ができるようにしてほしい。

〈その他〉

- ・ 投票所になる施設など区民が使う施設であり、元気な子供だけが使うわけではない施設は地域への配慮にもなる。紹介された事例は、制約がある中で配慮されていると感じた。
- ・ これまでの学校改築で工夫した点も紹介されたので、良かった点も反映した新しい学校にしてもらえるとよい。

その他気づいた点（点検対象以外を含む）

■意見・指摘事項

- ・ 江戸東京たてももの園では古い建物も施設見学できるように段差解消の工夫がさまざまにされているので、北区でも参考にできることがあると思う。
- ・ 北区バリアフリー基本構想でまとめた駐車場に関する配慮事項が、区の施設設計に活かされていないことに驚いた。
- ・ 水害や台風の際は要支援者用の避難所は早めに開設し、降雨の2～3日前に移動できるようにしてほしい。必要な荷物を運ぶためには何度か移動する必要がある可能性もある。雨が降り始めてからは逃げるのが難しい。ヘルパーの確保、連絡も事前に考えないといけない。

2. こころのバリアフリーに関する取組について

2-1. 実施目的

こころのバリアフリー等の内容について、区民等に広く周知・啓発を図ることで、バリアフリーに関する意識の定着を目指すため、「第42回 ふるさと北区 区民まつり」と連携し、北区バリアフリー基本構想の概要と主な成果に関するポスター掲示や、こころのバリアフリーに関する啓発活動（体験会）を実施しました。

デフリンピックを間近に控えていたことから、聴覚障害や手話に関する体験を中心に実施しました。

2-2. 開催概要

■日時 令和7年10月4日（土） 11時00分～16時00分
令和7年10月5日（日） 10時00分～16時00分

■実施場所 赤羽会館 1階 展示スペース（一部区画）

■実施概要 「第42回ふるさと北区区民まつり」の参加者に体験会への参加を促し、以下の内容に取り組んでいただきました。

- ①手話クイズ（4問）
- ②手話クイズで間違ったものを中心に、東京都福祉局の啓発動画の視聴
- ③バリアフリー基本構想の紹介パネルの説明
- ④手話自己紹介シートの作成・自己紹介の発表
- ⑤心のバリアフリーに関するコメントの記入

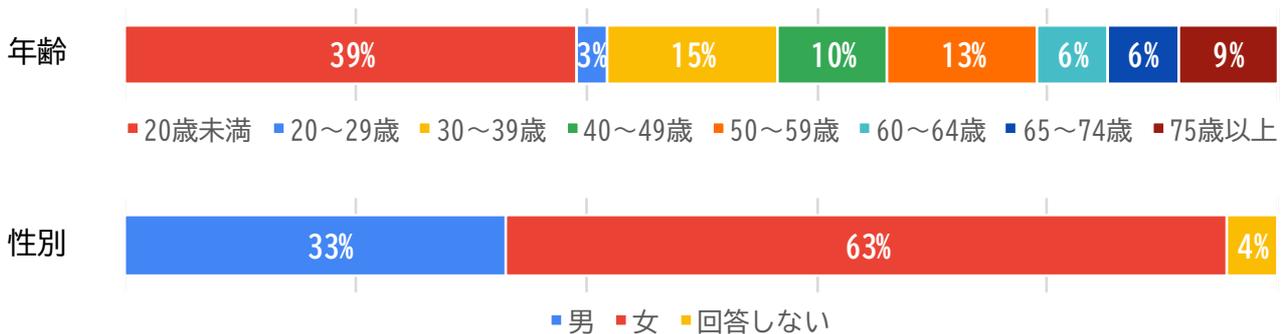
■参加者数 10月4日：57人 10月5日：58人
（手話クイズへの回答者数。親子など複数人で回答した場合も1人となるため、実際はより多くの参加がありました。）

■開催の様子



■参加者属性

(手話クイズに回答いただいた方 (n=115) の属性)



■手話クイズ

以下のうち、「バナナ」の正しい手話はどれですか？

正解率：63%

右手で3本の指を下に向けてゆらす動作

- 左手で握ったバナナの皮を右手でむく動作

【回答動画】話そう手のことば手話クイズ ～手話ってなに？～ 編

<https://www.youtube.com/watch?v=50FMF1Xz-A>

以下のうち、「あいさつ」の正しい手話はどれですか？

正解率：82%

- 両手の人差し指が向かい合うように立て、お互いがおじぎをしているように曲げる動作
両手の人差し指を曲げて交差させ、握手をしていることを示す動作

【回答動画】話そう手のことば手話クイズ ～あいさつ篇～

<https://www.youtube.com/watch?v=U-mpvr-0-oI&feature=youtu.be>

以下のうち、「ありがとう」の正しい手話はどれですか？

正解率：74%

右手の親指と人差し指で眉間をつまんでから、縦に前に出す動作

- 左手の甲に右手の小指側を乗せて上にあげながら、おじぎをする動作

【回答動画】話そう手のことば手話クイズ ～日常会話篇～

<https://www.youtube.com/watch?v=CRXID4eKAzo&feature=youtu.be>

以下のうち、耳が聞こえない・聞こえにくい人が困っていることは何でしょうか

正解率：84%

- ① 近づいてくる車や自転車の音が聞こえないので、危険に気づかない
② 窓口などで呼び出されていても、呼ばれていることがわからない
③ 話すことが苦手なので、うまくコミュニケーションが取れない
④ 見た目では障害がわからないので、困っていることに気づいてもらえない
⑤ ①～④のすべて

【詳細解説】話そう！手のことば～はじめての手話～ (パンフレット)

■手話自己紹介シート

こころのバリアフリー体験会 北区都市計画課

ここでは、北区でのバリアフリーの取組みを紹介しています。また、手話を中心にバリアフリーに関する簡単な体験ができます。5つ中、3つ以上参加していただいた方に景品を差し上げます。全て参加した場合、時間は20分程度です。がんばって取り組んでみてね！



手話クイズ 手話動画を見る 北区の取組み紹介 手話で自己紹介 心のバリアフリー

手話で自己紹介をしてみよう！

指文字シールを使って自己紹介シートをつくらう！

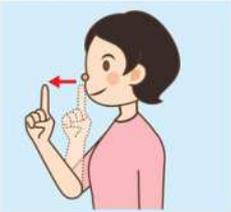
わたしの



名前は



といいます



出典：話そう！手のことば～おもてなしの手話BOOK（東京都福祉局）より作成（承認番号 福祉障企第1282号）

ゆび も じ 指 文 字

出典：話そう！手のことば～おもてなしの手話BOOK（東京都福祉局）より作成（承認番号 福祉障企第1282号）

指文字は日本語の「かな」にあたるもので、50音のほか、濁音や半濁音なども表現できます。基本的にきき手を使い、肩の前あたりで形を作ります。ここに紹介している指文字は、相手側から見た形です。



ふきだしは横から見た形です

あ 手の平が、相手から見て「あ」の形。 アルファベットの指文字「A」から。	か アルファベットの指文字「K」から。	さ アルファベットの指文字「S」から。	た アルファベットの指文字「T」の形。	な アルファベットの指文字「N」から。	は アルファベットの指文字「H」から。	ま アルファベットの指文字「M」から。	や アルファベットの指文字「Y」から。	ら アルファベットの指文字「R」から。	わ アルファベットの指文字「W」から。	っ 促音 「た」が「っ」となるように、手の平を動かして表現します。	ん 濁音 「ん」が「ん」となるように、手の平を動かして表現します。
い アルファベットの指文字「I」から。	き キツネを表しています。	し 数字の手話「7」から。	ち 指を立てて「ち」の形から。	に 数字の手話「2」から。	ひ 数字の手話「1」から（ひ、い、う、あ、い、ひ）。	み 数字の指文字「M」。	ゆ 数字の指文字「Y」。	り 数字の指文字「R」。	を 数字の指文字「W」。	ゃ 拗音 「や」が「ゃ」となるように、手の平を動かして表現します。	ん 半濁音 「ん」が「ん」となるように、手の平を動かして表現します。
う アルファベットの指文字「U」から。	く 数字の手話「9」から。	す カタカナの「ス」の字から。	つ カタカナ「ツ」の形から。	ぬ 「ぬ」を表すように動かす。	ふ 自分から見てカタカナの「フ」の形。	む 数字の指文字「M」から。	よ 数字の指文字「Y」から。	る 相手から見て「る」の形。	れ 「れ」が「れ」となるように、手の平を動かして表現します。	ゃ 拗音 「や」が「ゃ」となるように、手の平を動かして表現します。	ん 半濁音 「ん」が「ん」となるように、手の平を動かして表現します。
え アルファベットの指文字「E」から。	け 「け」を表すように動かす。	せ 「せ」が「せ」となるように、手の平を動かして表現します。	て 「て」が「て」となるように、手の平を動かして表現します。	ね 手の平の形から。	へ ひらき手の「へ」の形。	め つむぎの形から「め」の形。		る 相手から見て「る」の形。	ん カタカナ「ん」の形から。	ゃ 拗音 「や」が「ゃ」となるように、手の平を動かして表現します。	ん 半濁音 「ん」が「ん」となるように、手の平を動かして表現します。
お アルファベットの指文字「O」から。	こ カタカナ「こ」の形から。	そ 「そ」を表すように動かす。	と 「と」が「と」となるように、手の平を動かして表現します。	の カタカナ「の」の形から。	ほ 手の平を表しています。	も 「も」が「も」となるように、手の平を動かして表現します。		る カタカナ「る」の形から。	ん カタカナ「ん」の形から。	ゃ 拗音 「や」が「ゃ」となるように、手の平を動かして表現します。	ん 半濁音 「ん」が「ん」となるように、手の平を動かして表現します。

こまっ ている 人 を 見 か け た ら 使 っ て み よ う

なにかおこまりですか？

- 「こまる」片手の指先を集めるようにして「こめかみ」にあてて、軽く前後に動かします。こまてをかく動作です。
- 「なにか」片手の人差し指を立て、真の前で左右にふります。
- 「～か？」片手のひらをなめ上に向け、前方にたおしながら少し前に出します。たずねるような表情で表現しましょう。会話では3を強くすることがあります。

筆談 しましょうか？

筆談の際は、長い文房ではなく、短い文を簡潔書きにして清潔に伝えましょう。




出典：話そう！手のことば～はじめての手話～（東京都福祉局）より作成（承認番号 福祉障企第1282号）

■北区バリアフリー基本構想の概要と主な成果に関するポスター

北区バリアフリー基本構想について

バリアフリー基本構想とは、高齢者、障害者等が日常生活、社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設等の相互施設間の移動が通常徒歩で行われる地区等において、公共交通機関、建築物、道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために市町村が作成する構想のことです。

北区では、バリアフリー基本構想推進協議会および区民部会を設置し、障害当事者等とともにまちあるき点検を行うことで、当事者意見を取り入れる機会を多く設けてきました。

引き続き、施設管理者等と調整を図りながらさらなるバリアフリー化に取り組みまいります。

基本構想の基本理念と目標年次

「気づき」を共有し、カタチにするまち北区
～だれもが健やかに安心して生活・移動できるユニバーサル社会を目指して～

目標年次 令和7年度

特定事業の推進

地区別構想では、区内全体で3,000を超える事業を位置づけました。

なお、令和2～3年度に実施した事業進捗確認の時点では、全事業のうち、約42%が事業着手しております。

全体構想と地区別構想

平成27年度策定：全体構想
一体的なバリアフリー化を推進するための全体方針

地区別構想
各施設単位でバリアフリー化施策を定めて事業を推進

平成28年度策定：赤羽地区

平成29年度策定：滝野川地区

平成30年度策定：王子地区

まちづくりにおける一体的なバリアフリー化例

出典：国土交通省「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン」

まちあるき点検の実施

基本構想策定段階及び策定後は、区民部会が主体となり、生活関連施設及び生活関連経路のうち、バリアフリー化の進んだ施設等のまちあるき点検を当事者参加で実施しています。

平成29年度	なでしこ小学校複合施設見学会	
平成30年度	浮間舟渡駅前広場バリアフリー化検討会（東京都）	
令和元年度	赤羽地区・NTC 周辺まちあるき点検 浮間舟渡駅前広場バリアフリー化検討会（東京都）	
令和2年度	滝野川地区まちあるき点検	
令和3年度	王子地区まちあるき点検 王子第一小学校施設見学会	
令和4年度	赤羽地区まちあるき点検 浮間舟渡駅前広場バリアフリー化検討会（東京都）	
令和5年度	赤羽地区・滝野川地区まちあるき点検	
令和6年度	赤羽地区・王子地区まちあるき点検	

人的対応・こころのバリアフリーの推進に向けた取組の実施

基本構想策定段階及び策定後は、区民部会が主体となり、人的対応・こころのバリアフリーの推進に向けた取組を当事者参加で継続的に実施しています。

平成28年度	意見交換によるこころのバリアフリーの実情の共有 こころ情報バリアフリーに関する今後の取組のアイデアの検討	
平成29年度	特別支援学校へのアンケート及びヒアリング調査による当事者の声の収集 啓発用リーフレットの作成 協議会や合同意見交換会での事業者への障害理解の実践	
平成30年度	区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握 視覚障害者誘導用ブロックを活用した案内表示の検討 事業者への障害理解の実践（障害者体験） 区民（民生委員）への障害理解の実践（ポッチャ体験・施設見学会）	
令和元年度	区立小学校へのアンケート調査による子どもの障害者への配慮状況の把握 VRによる啓発動画の作成に向けた情報収集・企画書の検討	
令和2年度	VRによる啓発動画の作成・VR動画上映会	
令和3～4年度	区立小・中学校におけるVR動画活用による啓発活動	
令和5年度	「ハートスポーツフェスタ2023」と連携したVR動画体験会による啓発活動	
令和6年度	北区区民まつりにおける心のバリアフリー体験会（VR動画体験・啓発動画視聴・ポスター点字）	

北区バリアフリー基本構想の推進により完了した主なバリアフリー整備事例

重点整備地区

- 浮間舟渡・北赤羽駅周辺地区**
施設名：JR板橋駅東口駅前広場
事業主体：北区
事業内容：歩道の傾きやがたつき、横断歩道の段差や勾配の解消、雨溝の蓋（グレーチング）などの目の細かいものへの交換、視覚障害者誘導用ブロックの設置（JIS規格適合・確度比の確保・生活関連施設への誘導）、バリアフリートイレへの改修、オストメイト対応設備や乳幼児用設備の設置
- 赤羽・赤羽駅周辺地区**
施設名：赤羽通り
事業主体：北区
事業内容：視覚障害者誘導用ブロックの設置・改修（誘導案内付き視覚障害者誘導用ブロックの設置）
- 王子神谷駅・島島周辺地区**
施設名：稲付中学校
事業主体：北区
事業内容：車いす使用者用駐車施設の設置及び案内表示
- 王子神谷駅・堀船周辺地区**
施設名：JR東十条駅
事業主体：東日本旅客鉄道株式会社
事業内容：可動式ホーム構設置
- 滝野川第二小学校**
施設名：滝野川第二小学校
事業主体：北区
事業内容：車いす使用者が円滑に利用できるトイレの設置

おしえてください

北区内の施設や道路などの良くなったと感じるところ困っているところ

0 375 750 1,500 2,250 3,000メートル

2-3. 参加者の意見内容

①北区内の施設や道路などの良くなったと感じるところ・困っているところ

地区	施設・箇所	良くなったところ	困っているところ
赤羽・赤羽右淵・志茂駅周辺地区	JR 赤羽駅	—	<ul style="list-style-type: none"> ・赤羽駅北口はエレベーターがほしい。 ・駅のエレベーターが南口にしかない。 ・南口につながるところが、やや不便。 ・車いすの方が赤羽駅エキュート(北口方面)に行く手段がない。
	鉄道駅全体	—	<ul style="list-style-type: none"> ・駅のエレベーターが少ない。
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・志茂地区の歩道が狭く、車いすは車道を通ることになり危ない。 ・花屋の花壇の前に段差がある。 ・セブンの前の信号待ちの場所に傾斜がある。 ・道のあらゆるゴミ捨て場。道を塞いでいるし散乱している。回収箱等を設置してほしい。
	建築物	—	<ul style="list-style-type: none"> ・赤羽会館にユニバーサルベッドがないので、オムツ替えができない。 ・赤羽北団地内もバリアフリーになるといい。 ・赤羽西福祉工房は、図書館が3階でエレベーターがない。
地区全体	<ul style="list-style-type: none"> ・多種の施設が集まっていて生活しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターが少ない。 ・車いすで出かけづらい。 ・赤羽地区にユニバーサルベッドがない。 	
浮間舟渡・北赤羽駅周辺地区	JR 北赤羽駅	<ul style="list-style-type: none"> ・赤羽口にエレベーターとバリアフリートイレができ、便利になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北赤羽駅はホーム柵がまだない。
	都立浮間公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のトイレが使いやすくなった。 	—
十条・東十条駅周辺地区	JR 東十条駅	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの柵がついて良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口側のバリアフリーが遅れている。 ・東十条駅の王子駅側が階段だけしかない。
	JR 十条駅	—	<ul style="list-style-type: none"> ・十条駅の駅から広場への動線が階段。解消してほしい。 ・十条駅の高架化が進んでいない。 ・十条駅ホームを延ばして上り下りの移動をスムーズにしてほしい。
	道路	—	<ul style="list-style-type: none"> ・線路の踏切がなかなか開かない。開き時間が短い。 ・高低差があり、簡単に歩いて通ることができにくい。 ・赤羽公園横の歩道に傾きがある。

地区	施設・箇所	良くなったところ	困っているところ
王子駅・堀船 周辺地区	鉄道駅全体	—	・駅のエレベーターの数が少ない。
	道路	・区役所までの道	—
田端・駒込駅 周辺地区	JR 田端駅	—	・JR 田端駅南口改札口を出た右側の階段にスロープを付けてほしい。 ・駅から直結のエレベーターが必要。
	道路	—	・タワー級の長い上り坂を車いすの人が登るのに困っている。
北区全体	鉄道駅全体	—	・駅のエレベーターが遠いことが多い。
	道路	・誘導用ブロックが増えてきたと感じる。	—
	トイレ	・至るところにある公衆トイレが大変使いやすそうです。	・人が集まるところに安全なトイレを増やしてほしい。(高齢者)

②こころのバリアフリーをもっとひろげるために

配慮してほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・十条駅の階段に両方ともエスカレーター又はエレベーターを付けていただきたい。 ・赤羽岩淵駅は、エレベーターを本当に使いたい人が乗れない。 ・車いすやベビーカーが使える、広いエスカレーターを付けてほしい。 ・横断歩道で信号が変わるのが早すぎるところがある。 ・点字ブロックが荷物でふさがれていることを目にする。 ・誘導ブロックは、車いすの方には上がるのが大変そう。 ・障害者や転びがちな高齢者のために、歩きやすい道路をつくっていただくとありがたい。 ・障がいをもっている人をジロジロ見るのはやめてほしい。気になるなら「こんにちは」と挨拶してください。
実践できていること	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの人の団地でのゴミ出しを手伝っている。 ・白杖の人がいる場合、点字ブロックの上は歩かないようにしている。 ・点字ブロックには自転車を乗せない。 ・車いすの方の扉を開ける手助けをしている。 ・若いので、エレベーターは使わない。 ・障がいをもたれている方の、歩行が安心してできるように配慮する。
これから心がけたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人(困ってそうな人)を見かけたら、声をかけてあげる。 ・思い切って困っている人に声をかけたい。 ・困っている人がいたら声をかける。 ・車いすの人や妊婦さんに優先席やエレベーターを先に譲りたい。 ・優先することを心がける。 ・白杖を持っている方は優先的にするようにする。 ・点字ブロック上に物が置いてあるのは非常に不都合。 ・点字ブロックの上に自転車を置かないようにする！ ・優しい気持ちをもつこと。